

東日本巨大地震 被害者・地域の復興支援に全力を (2)

2011年3月21日 社団法人信和会理事長 門 祐輔

地域、患者、利用者のみなさん

地震・津波・原発問題により、東北、関東を中心に大きな被害、問題が生じています。全国民医連は3月19日時点で、医師170名を含む約690人を現地に送り、支援活動を行っています。私も3月21日から1週間宮城へ行き、被災地の診療支援に入ります。急遽決定したため、診療体制の変更がありご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

お寄せいただいている義捐金は、3月16日にまず100万円を現地へ送金しました。また、17日には信和会事業所の職員180人以上が街頭へ出て、3行政区5カ所で1時間の救援行動を行いました。その場では21万1,141円+2ユーロ+1セントの募金が集まりました。その後も続々とお寄せいただいております。本当にありがとうございます。

本格的な支援、復興はこれからです。原発被害の問題も予断を許しません。信和会・民医連は、他団体とも協力して、今後も物心両面での支援を継続していきます。義捐金をはじめ、みなさんのご協力を心よりお願いいたします。

私たちは、「いのちの平等」を掲げる医療・福祉機関として、現地で必死に頑張っている仲間思いを馳せながら、こころ一つに全力で頑張ります。ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。